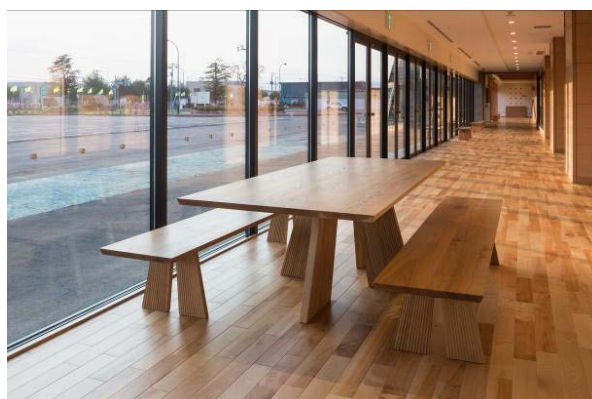


当麻町公民館「まとまーる」

■所在地	北海道上川郡当麻町3条東2丁目	■木材使用量	111.75m ³ （地域材100%）
■設置者	当麻町	うち町産材	107.26m ³
■構造	公民館：木造平屋建 ホール：鉄筋コンクリート造2階建	■使用樹種	構造材 カラマツ・トドマツ 造作材 カバ・ニレ・タモ・セン
■延床面積	1,434.43m ² （公民館451.16m ² 、ホール983.27m ² ）		



◆施設の概要

本施設は、平成24年に当麻町開拓120周年を迎えたことを機に計画されました。行政区の65%を森林が占める資源豊かなまちであることから、生産される木材の積極的な利用促進のため、町内で伐採された木材を構造材・内装材に使用しました。利用者の方々に木材の良さをPRするとともに、地域材を直接「見て」、「触れて」、「感じる」ことができる施設となっています。

また、本施設において展示・使用する木製家具においては町有林より伐採された樹齢150年以上の「みずなら」を、旭川の家具メーカーCONDE HOUSEへ制作依頼し官民協働によるオンリーワンの家具が製作されています。木材の良さ・暖かみを利用者に発信し、森林の香りあふれるこの空間が、当麻町の豊かな暮らしを形づくるシンボルとして期待されています。

◆工法等の特徴

本施設の公民館部分の構造は木造とし、その総木材使用量の96%を当麻町産材にて建設しました。一般木造在来工法を採用することで、地域の技術者で施工が可能となりました。

◆整備に当たり苦慮したこと

設計段階から、どの部位にどの材種の材料を使用するかを決定し概算数量を算出。工事の前年度から伐採作業に入り、材量確保に苦慮しました。工事施工にあたり、各工種全てにおいて技術者不足により工程が遅れ、工期内完成に苦労しました。

◆利用者の声

ほとんどの方から「木の暖かみを感じる」、「木の香りがして森の中にいるようだ」という感想が寄せられています。